

社会福祉法人じねん 令和8年度 事業計画

数年来のコロナ禍はだいぶ落ち着いてきている状況ですが、インフルエンザの感染予防を含め、当法人においてはこれまでの予防対策を継続しているところです。

当法人の施設ですが、建物の外回りの修繕についてはすでに完了しました。施設の屋内補修については、令和6年度に「愛敬」昨年度は「寿楽」の内装の改修を行ないました。今年度は「康陽」の内装の改修を行なう予定です。設備については、夏の異常な高温に対して、「愛敬」「寿楽」には各1ユニット分の冷房設備を設置済みであり、未設置の「康陽」と「とうま」に各1ユニット分の冷房設備を今年度に設置する計画としています。

また「寿楽」の車いす対応車が購入から20年経過しており、老朽化が激しいため、新規に車いす対応車を購入する計画としています。

介護職員の不足については相変わらず常態化していますが、当法人では日本人採用と共に外国人も積極的に採用する努力を続けています。外国人採用について令和8年度の採用は出来ませんでした。令和9年度には当麻町、中富良野町でそれぞれ1名の採用、令和10年度には各町に1名ずつの要望を出しております。

職員の処遇改善については、昨年度に引き続き今年度も行なってゆく予定です。具体的には、専任職員の昇給は総額13,425,000円、率にして4.3%のアップを行います。臨時職員の時給は1,162円から1,218円へ56円のアップを行ないます。

今年度は以上のような事業計画を考えていますが、人件費や物価の高騰は高水準で推移しており今後も続くものと思われれます。昨年度に利用料金の値上げを実施いたしましたが、厳しい状況は続くものと思います。収入アップ、経費削減に継続して取り組んでいかなければならないと考えています。